

# 地域住民との合意形成 のポイント

反対運動などにならないために何が必要か！



株式会社アルシス

## 株式会社アルシス 会社概要

- 本社 栃木県那須塩原市唐杉100-7 東京支店・大阪支店 の3拠点で営業
- 創業 2004年 2月
- 代表取締役 高根沢 喜美一
- 事業内容 一般電気工事~高圧電気工事 ・ 建築工事（楽屋の商業で建築事務所登録）
- 特定建設業登録 電気工事業 建築工事業（建築に付随する項目）
- グループ企業 アルシスパートナー株式会社（不動産事業） （株）カイロス（商社）

### 所属団体

- 新エネルギー革命会会員 （会員数90社2021,4） 第2代目会長
- 一般社団法人・新エネルギーO&M協議会会員 （会員数66社2021.9） 現・代表理事  
活動報告2021.9NEDO公募助成事業に選定「時世代のO&Mを支える発電電力量評価等の技術開発」
- 日本PVプランナー協会会員 2018関東ブロック理事

初めに

## 地域住民への十分な説明の実施

- 事業者は、国のガイドラインの規定を踏まえ、事業計画書作成の初期段階から地域住民と適切な関係構築を図るとともに、地域住民に十分配慮して事業を実施することとあり、事業者は、設計・施工・運用・撤去・処分等の計画や、排水、土砂流出などについて説明を求められた場合には、事業計画作成の早い段階で、改めて地域住民へ説明すること、そして地域住民から事業に対する要望、苦情、懸念等があった場合は、誠意をもって対応し、理解を得ることとあります。（宮城県ガイドライン）

- 住民説明に必要な事業計画の内容

まず、住民説明の範囲とは？？？

地域によって違いがあり明確な指定範囲はないが、事業計画地に面している各行政区の全てが望ましい（範囲が広くなると各地域ごとに分散説明会も必要）

- 1 住民説明会の実施等について （農林水産省HP抜粋）
- 太陽光発電施設の設置を目的とした開発行為については、防災や景観の観点から、地域住民が懸念する事案があることから、申請者は、林地開発許可の申請の前に住民説明会の実施等地域住民の理解を得るための取組を実施することが望ましい。  
特に、採光を確保する目的で事業区域に隣接する森林の伐採を要求する申請者と地域住民との間でトラブルが発生する事案があることから、申請者は、採光の問題も含め、長期間にわたる太陽光発電事業期間中に発生する可能性のある問題への対応について、住民説明会等を通じて地域住民と十分に話し合うことが望ましい。このため、当該林地開発許可の審査に当たり、以上の取組の実施状況について確認することとする。

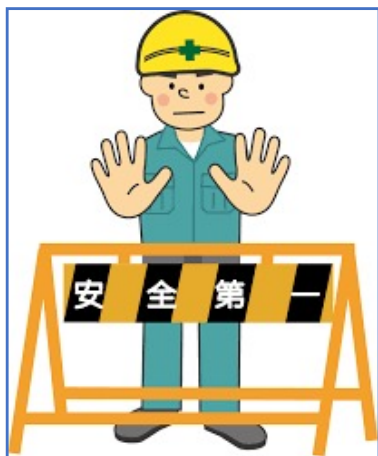
そもそも、  
なぜ住民説明会は必要なのか？



それは地域の  
方は建設時か  
ら運転終了迄  
に不安がある  
から



# 不安要素



工事中の工事会社との関係性



発電事業者との継続的な関係性



太陽光発電設置後の環境破壊



地盤変化による生活環境の悪化



体への影響



生態系の影響



事業終了後の不法投棄等

## 必要な説明項目

- 施設設置予定場所
- 事業地の面積（㎡）
- 事業地の登記地目
- 発電事業者情報（事業者名、代表者、住所、電話番号、担当者、緊急連絡先）
- 施工会社情報（連絡先等）
- 発電容量（kW）
- 発電事業認定書の写しや、電力会社との協議計画書
- 設置工事着手期間～工事完了時期 運転開始時期
- 資材 モジュール、パワコン、架台などの仕様書及び配置図・フェンス仕様（色等）
- 高電圧危険区域への立ち入り制限の対策
- 地盤整備の方法
- 排水計画（各地域のハザードマップなどを併用し説明）
- 土砂流出の危険がある場合はその対策方法
- 防草対策（除草剤の散布）近くに田畑があると時は特に注意
- 採光伐採がある場合は伐採の範囲
- 景観形成に関する取り組み等
- その他、要望のあるもの

現在、全国で太陽光発電を巡り起こっている反対運動は約40件にのぼる

### 全国での、最近の主なメガソーラー反対運動

- ・ 栃木県日光市 市民団体が反対署名 **6,931** 人分を市議会に提出
- ・ 三重県志摩市 地元住民 漁協が中止を求める要望書
- ・ 高知県土佐清水市 大岐地区の新設計画で住民が市へ指導要望 7 団体と個人が施設建設への不同意書を県に提出
- ・ 京都府南山城村 メガソーラー建設に地元自治会が反対
- ・ 栃木県鹿沼市 市民団体が市へ建設差し止めを求める署名提出
- ・ 岡山県岡山市 市内の山林で浮上した整備計画に住民が反対の声
- ・ 長野県飯田市 風越山での整備計画に住民が中止要望書を市に提出
- ・ 静岡県伊東市 八幡野地区の設置計画に市議会が反対決議
- ・ 香川県土庄町 豊島で地元住民が反対運動
- ・ 滋賀県高島市 メガソーラー建設反対の署名を住民が市に提出
- ・ 福岡県飯塚市 白旗山の計画に対し、住民が反対署名を市に提出



仙台市太白区秋保町のゴルフ場「太白カントリークラブ」に大規模太陽光発電所（メガソーラー）を建設する計画を巡り、住民が自然環境の破壊につながると反対運動を進めている。建設計画は市の環境影響評価（アセスメント）の手続き中だが、住民は既に署名活動を展開していて、12月中に郡和子市長へ署名簿を提出し、協力を要請する。住民はメガソーラー建設による森林伐採で、ゴルフ場周辺に生息するニホンカモシカ、コウノトリなどの動物のすみかが失われかねないと懸念。地面の保水力が低下し、土砂災害や水害の危険が高まるほか、太陽光パネルが破損した場合、近くの名取川に有害物質が流れるなどと心配する。

住民有志は8月27日にあった同社の地元説明会を踏まえ、「メガソーラー建設に反対する会」を設立。9月10日にあった2回目の説明会で反対意見を伝えた。



## メガソーラー反対派に焼酎と100万円持参...建設巡り対立の中

事業者と住民らが対立した主な太陽光発電事業



大規模太陽光発電所建設

(メガソーラー)を巡り、事業者と住民間のトラブルが全国で相次いでいる。

令和1年10月の台風19号で被災した宮城県丸森町では、

事業者側が反対派の行政区長に賄賂を渡そうとしたとされる贈賄事件にまで発展した

容疑者は計画に賛成してもらうため、反対派の区長に現金100万円と桐箱に入った焼酎(4,000円相当)を渡そうとした。区長は受け取りを拒否、その後県警に特別職の非常勤公務員である行政区長に賄賂を申し込んだとして、贈賄容疑で逮捕



## 伊豆土砂災害での太陽光施設への不安が高まる

土石流が静岡県熱海市伊豆山地区を流れ下った7月3日、上流部の森林を開いて作られた太陽光発電施設との関連を指摘する声がSNS上にあふれた。その後、静岡県の調べにより、谷あいに残土が持ち込まれて盛り土された場所が土石流の起点だったとわかり、“盛り土主因説”が浮上。“太陽光発電犯人説”は影を潜めた。

とはいえ、土石流発生メカニズムの解明は途上だ。傾斜地への太陽光パネル設置については、経済産業省が最近、規制を強化し、当時、小泉進次郎環境相も規制区域の導入検討を示唆。土石流発生リスク回避の新たな動きが出てきた。



## 地域住民への説明方法と地域との上手な付き合い方①

- 計画初期段階から住民説明会を開催する
- 範囲としては建設に隣接する全ての各自治区へ、多い場合には各地域の個別に説明会を開催する
- その他関連する地域については市町村等へ相談する



## 地域住民への説明方法と地域との上手な付き合い方②

説明会には役割分担をし専門担当者が実施すると、より説明に安心感と信頼性がでる。

(説明者は資格者など有識者だとより良い)

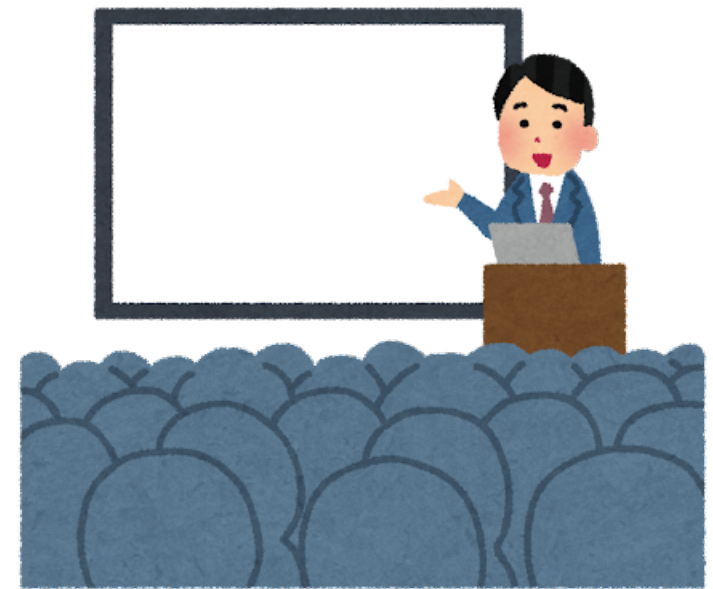


この修了証の形態は一例です。  
各登録教習機関によって、写真の有無等  
様式が異なります。

## 地域住民への説明方法と地域との上手な付き合い方③

- 開催前には自治区長などへ事前に下打合せをし地域の方々の考えなどを把握し情報収集をしておく
- 地域の方々から色々な質問や問いかけには、高圧的な態度はとらず、丁寧に説明するよう心掛ける
- 住民からの意見については検討の上、出来るだけ事業計画に取り入れる

# 説明会



## 地域住民への説明方法と地域との上手な付き合い方④

- 質問事項はなるべく返答する事が望ましいが曖昧には答えず、その場は持ち帰り返答を検討し、後日必ず返答をする
- 開催時はボイスレコーダー等で説明会の内容を録音する（録音している事を事前に伝えると良い）



## 地域住民への説明方法と地域との上手な付き合い方⑤

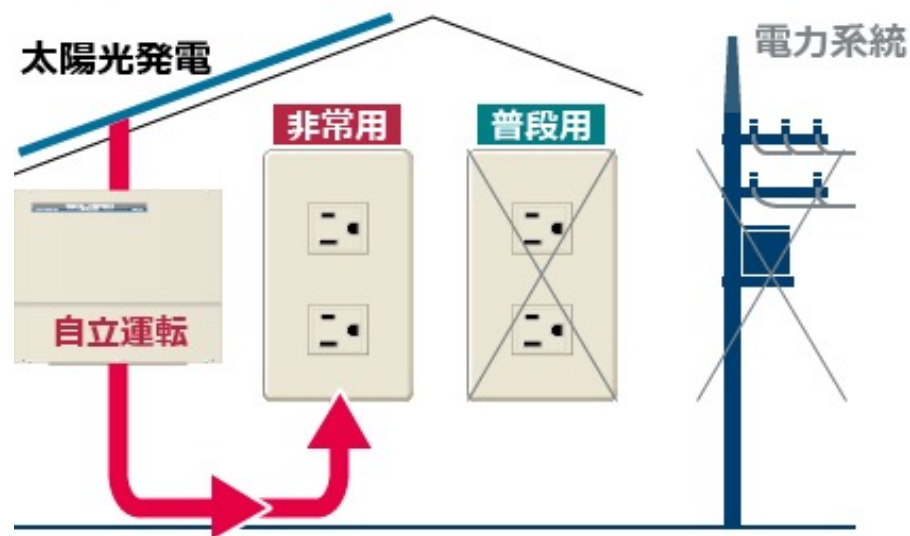
地域の方に受け入れられ  
やすい事を入れる

- 機器選定にて自立運転機能搭載型のパワコンを選定し、災害時に非常用電源の活用が出来るなど



**停電時**

非常用コンセントが使えます



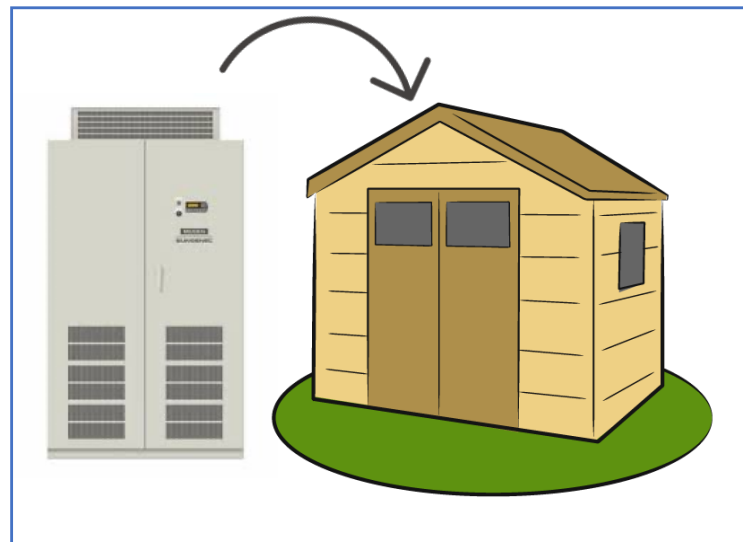


# 地域住民への説明方法と地域との上手な付き合い方④

地域の方からの要望や対策の一例



地域活動協力  
(奉仕作業への参加)



ノイズ・騒音等対策で小屋  
内への設置



太陽電池モジュール  
反射光による設置向  
きの考慮



建設時の森林確保で自然保護



地元産材での架台制作に  
より地元応援を促す

# 一般社団法人 新エネルギーO&M協議会のご紹介

一般社団法人 新エネルギーO&M協議会  
JOMARE  
Japan O&M Association for Renewable Energy

サービス紹介 | 入会・料金 | 次世代型O&M365日 | セミナー | お役立ち資料 | 会員取扱商品 | お知らせ | 会員情報 | 協議会概要

## O&Mサービスの提供を 立ち上げから支援

新エネルギーO&M協議会は60社以上の会員が得意分野を持ち寄り技術や知識を相互に研鑽し、最新の情報を提供することで「まっとうな」発電所の普及に貢献します

[入会手続きに進む](#)

[セミナーを確認する](#)

### 注目コンテンツ

- 「次世代型O&M」とは？
- 主催：宮城県再生可能エネルギー室 (みやぎ環境税活用事業) 令和3年度「太陽光発電設備保守点検等研修」ご案内
- 業界初！太陽光発電所の発電量を解析するアプリを開発
- 発電所に近いO&M業者を探す！日本全国O&Mお助けネットワーク

当協議会は、「太陽光発電所の長期安定稼働のため、建設、運転およびメンテナンスに係るマネジメントに関する制度、技術、方法等を企画・開発し広く一般へ普及するとともに、当法人の会員へ啓発し、技術修得や実施の支援」を目的として2018年5月に発足し3年目を迎えております。

太陽光発電所のO&M事業が、社会的使命を担う魅力あるビジネスとして、太陽光事業の中に定着し発展していくために、先頭で活動する団体でありたいと思っております

以上、皆様方のより良い発電所建設のお役に立てれば幸いです。